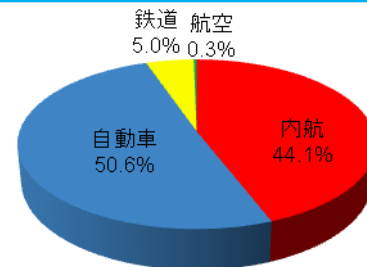


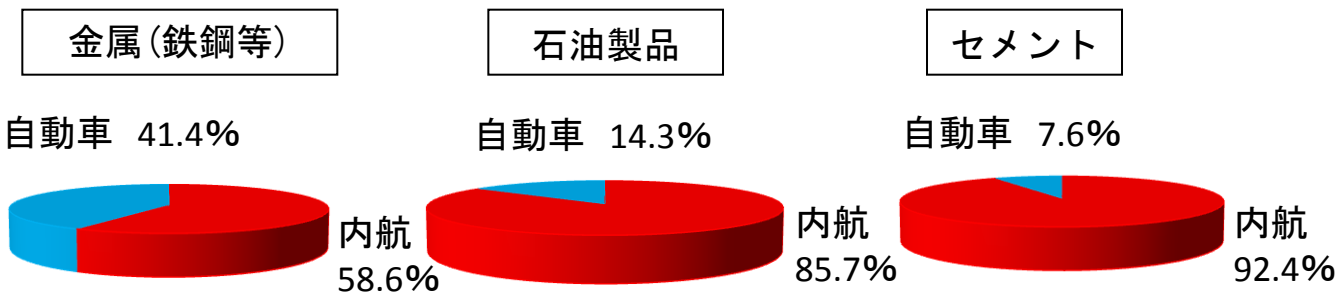
内航海運の現況（輸送分担率、輸送品目別シェア）

内航海運は、**輸送量が約1,831億トンキロ**で、**国内物流の4割**、**鉄鋼、石油、セメント等産業基礎物資の約8割**の輸送を担う重要な物流産業



輸送機関別シェア
(トンキロベース)
(平成26年度)

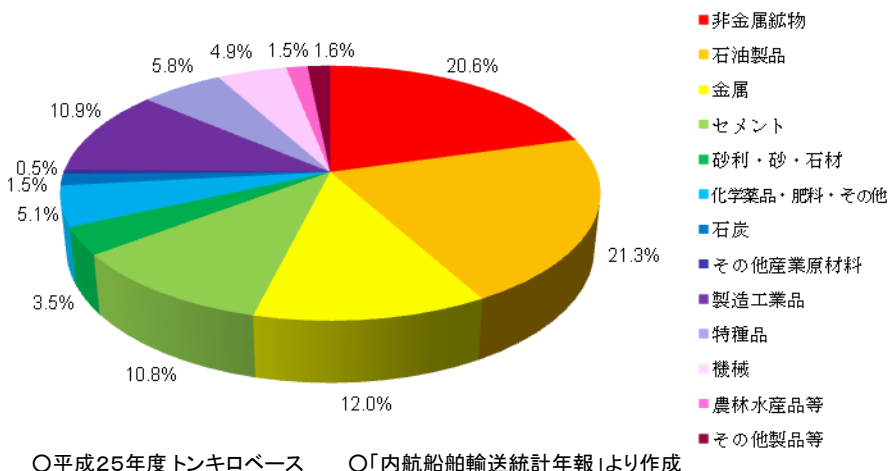
国土交通省資料より作成
品目別輸送機関別シェアは平成21年度割合



内航海運事業者 (平成27年4月1日現在)

- 全事業者数: 3,555事業者
- 全体の99.7%が中小企業
- オペレーター: 運送事業者(49%)、
オーナー: 船舶貸渡事業者(51%)の階層構造
- オーナーの約7割が、船を1隻しか所有しない、
いわゆる「一杯船主」

輸送品目別シェア



一般貨物船



油送船



RORO船



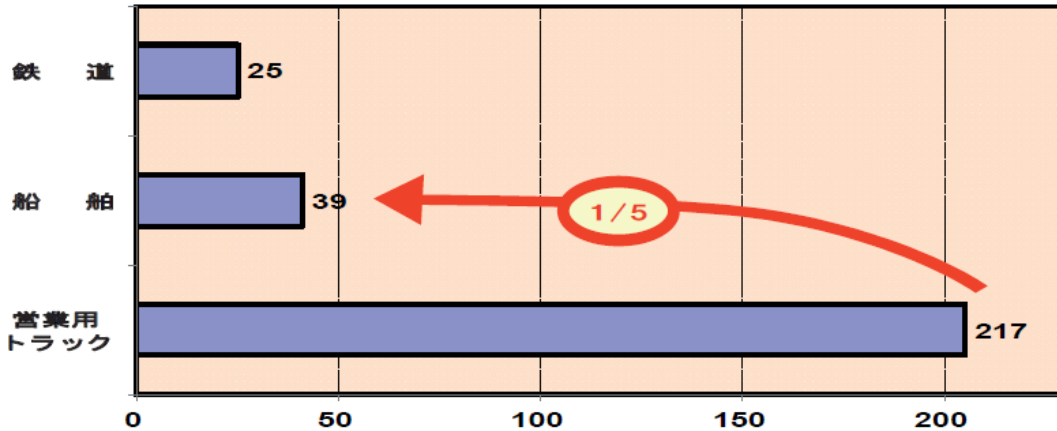
自動車専用船



セメント船

内航海運は、環境に優しく、輸送効率に優れた輸送機関であり、地球温暖化対策、少子高齢化による労働力不足対策の観点からも極めて重要である。

1トンの荷物を1km運ぶ際に消費するエネルギーの比較



○国土交通省資料より作成。

(平成25年度)

1トンの貨物を1km輸送したときに排出するCO2の量 [g-CO2/トンキロ]

～ 船舶は効率的な輸送機関です ～

内航船舶(499t)
1隻

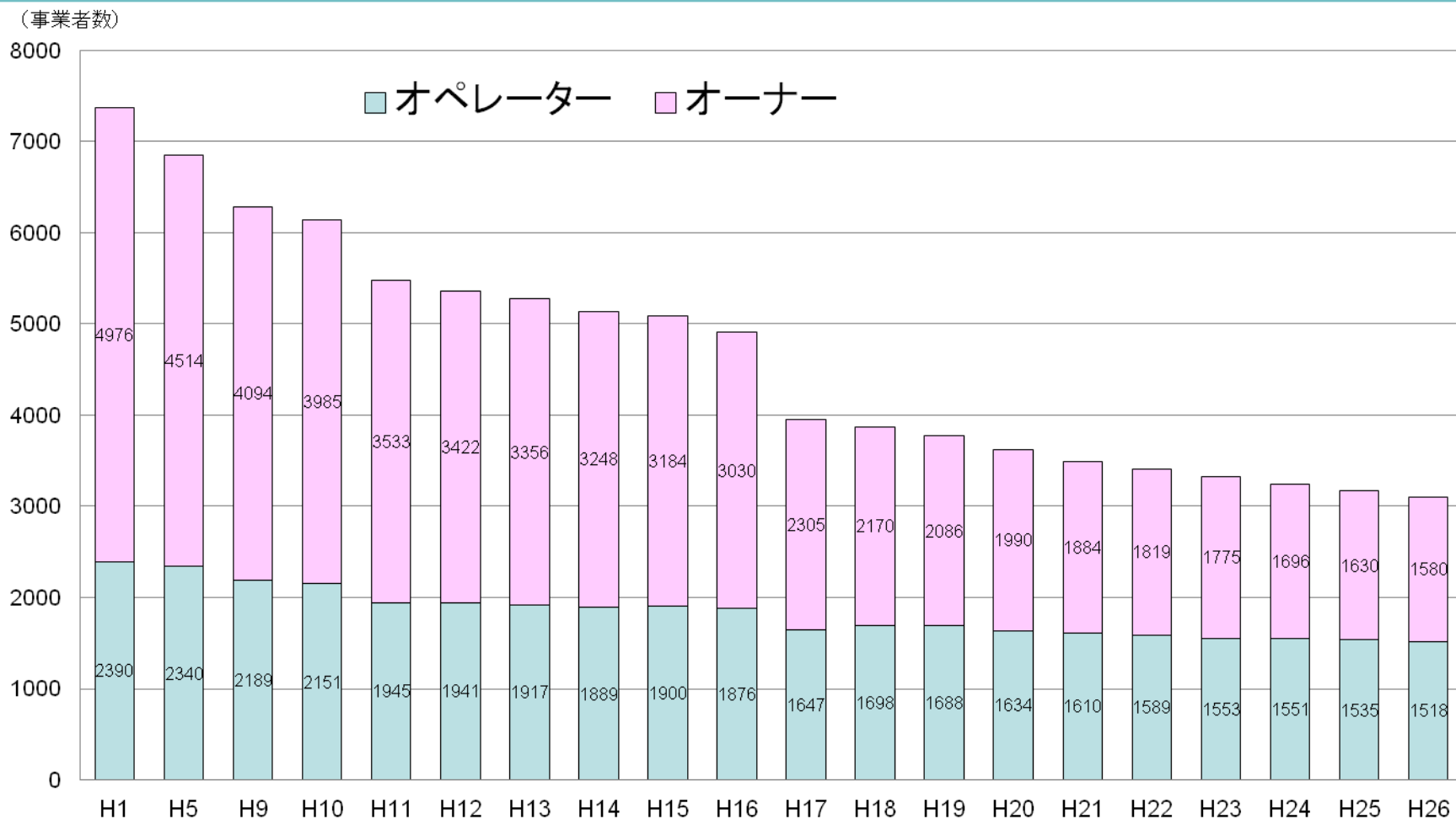
トラック(10t)
概ね160台分

内航海運は、**重量ベース**で、年間3億7千万トンを運んでおり、**10トントラックで3700万台**に相当

内航海運の輸送量を、陸上輸送機関で代替することは、物理的にも、交通環境問題からも極めて困難。

内航海運の事業者数(オーナー・オペレーター別)の推移

事業者数については一貫して減少。特に、平成10年～11年の船腹調整制度廃止時には大きく減少した。過去20年において、オペレーターが35%減少したのに比べ、オーナーは64%減少した。



○国土交通省海事局内航課資料より作成。各年度末現在。休止等事業者を除く。

○平成13年時の減少は、統計の取扱を変更して実事業者数とした影響あり。